

豊田中央図書館より

よもよも

vol.65
2026 2

ここは、静かで
心落ち着く場所

わたしと、図書館 vol.49

あなたにとって豊田中央図書館はどんな場所ですか？
利用者さんに、図書館のお気に入りスポットで話を聞きました

物語に夢中になる 静かな時間

本を読むことが大好きな小学2年生の咲良さん。5歳の頃、お母さんに連れられて図書館に来たことがきっかけで、今では中央図書館だけでなく、交流館や学校の図書室に通い、日常の中にいつも本がある生活を楽しんでいる。今は小学生に大人気の『科学漫画サバイバル』シリーズにはまっていて、中でも『アレルギーのサバイバル』がお気に入りだという。「おはなしの途中に出てくる『変なおばさん』がおもしろくて大好き。おもしろすぎて、もう2回も借りた。今はサバイバルを読んでいるけど、次はお父さんが読んでいた本を読みたいな。1冊の中にたくさんのお話が詰まった『5分後に意外な結末』シリーズに挑戦したい」と、本に対する好奇心は、ますます膨らんでいる。

学校の図書室で借りた占いの本で家族を占うのも楽しみのひとつ。「当たっている時もあれば、外れる時もあるのがおもしろい」と、本を通じたコミュニケーションを楽しんでいる。また読書のほかにも、中央図書館のバックヤードツアーに参加して図書館の裏側を冒険するなど、本をきっかけに世界を広げている。

そんな彼女にとって、図書館とは「心が落ち着く場所」だという。

「静かで本が読みやすいし、読み聞かせのおへやに行くと、いつも好きな本を最後まで読み切っちゃう！」

撮影場所 4階児童コーナー 写真 鷹巣由佳

はしもと さくら
橋本 咲良 さん

小学2年生。学校の図書室に毎日通うほどの本好き。最近、『科学漫画サバイバル』や『実験対決』などのシリーズものの本がお気に入り。



咲良さんの
好きな本

『アレルギーのサバイバル1
(かぐるBOOK)生き残り作戦』
ゴムドリco./文 韓賢東/絵
[HANA Press Inc./訳]

朝日新聞出版 請求記号 K493/ゴム/1



教えて！とよたの伝統工芸 和紙工芸体験館

尾関さん・齋藤さんインタビュー

豊田市中央図書館では、とよたの伝統工芸・小原和紙の紙漉き体験講座を開催します。講座にあわせて、日々小原和紙の魅力を発信する和紙工芸体験館の職員・尾関さん、齋藤さんに、和紙の歴史や原料、和紙の作り方について、お話しいただきました。

とよたが誇る伝統工芸

尾関 豊田小原和紙（小原和紙）は「三河森下紙」と「豊田小原和紙工芸（小原和紙工芸）」製品としての和紙」の3つに分けられます。元々、小原地区には和紙の原料となるコウソノ木がたくさんあったため、室町時代に紙漉きが始まったと言われています。三河森下紙は、ほかの産地と比べて分厚いのが特徴で、主に番傘や障子の紙として利用されています。豊田市の中学校の卒業証書の紙には、全てこの三河森下紙と同じ製法が使われています。

齋藤 小原和紙工芸は、和紙を漉くときに色のついた和紙原料繊維を使って、絵模様をついた和紙を漉きます。カラフルな和紙そのものが、一つの美術作品であることが特徴です。



藤井達吉 (1881~1964)
明治から昭和に活躍した愛知県出身の芸術家

芸術家・藤井達吉と 小原和紙の歩み

尾関 小原と藤井達吉先生との出会いは昭和初期です。小原でできた三河森下紙を気に入った先生が、大量に注文してくれたいことがきっかけで縁が生まれました。先生が、機械で大量生産できる紙に押されて、手漉き和紙がなくなってしまうことを危惧して、今の小原和紙工芸を考案してくださいました。その後、戦争で小原に疎開してきた先生の指導で本格的になりました。小原和紙工芸のカラフルな色付けは、先生から教わったもの一つです。白い和紙だけでは飽きられてしまうと、草花の染液や、砂や土を練り込んで一緒に煮ることで色素を沈着させて色を付ける方法を教わりました。

和紙ができるまで

尾関 まず、原料のコウソノ木を刈り取ります。次に、コウソノ束にして蒸し、皮をはぎ取ります。これを「カンカシキ」と言います。それから、表面にある黒い皮をナイフで削る「タクリ」という作業をし、きれいになった皮を釜に入れてアルカリ性のお湯で煮ます。手でちぎれるほどやわらかく煮たら、皮に残った節やキズを手作業で取り除く「ちり取り」という作業をします。次に、ちり取りが済んだ皮を、叩いてほぐします。昔は煙の木で叩いていましたが、今はミキサーでほぐしています。その後、コウソノ繊維とトロを水の中で混ぜ合わせる「舟水作り」を行います。これで紙が漉けるようになります。竹のすだれを挟んだ木わくで舟水を汲んで、前後左右に揺り動かしながら、紙を漉いていきます。漉き終えたら枠から外し、水を絞り乾燥させて完成です。

2/28(土) 10:30-12:00
知ってる？とよたの伝統工芸
小原和紙でオリジナルはがきを作ろう!!

紙を漉く体験を通して、小原和紙の歴史や作り方などを学ぶ、調べる・伝える学習応援講座です

場所 6階多目的ホール 定員 先着18人
対象 小学生(1家族につき保護者1人同伴)
申込み 2月5日(木)午前10時から、中央図書館4階総合案内、HPにて受付



尾関 卒業証書用紙の作製も後継者育成事業の一環です。三河森下紙の手漉き技術を使うことで、技術を継承しています。豊田市小原和紙のふるさとでは、職員が和紙の基礎技術や歴史を学んだり、ほかの和紙の産地との交流活動を行ったりもしています。また月に一度「絵漉き（小原和紙工芸の技術）」を工芸家の先生に学びながら技術向上に取り組んでいます。このようにして、三河森下紙の技術継承と小原和紙工芸の技術習得や表現の模索をしています。

後継者の育成と 伝統技術の継承

齋藤 ほかに、小原和紙美術館で職員の1年の成果を発表する、後継者育成展を開催しています。小原和紙工芸の先生方は、歳を重ねてきて後継者が必要な状況です。そのため、若い人が次の担い手になれるように育てていくことを大事にしています。

豊田の「顔」として 活躍する伝統の技



絵漉きの作品

尾関 小原和紙は、豊田市の記念品や認証書に使われます。例えば、豊田市の出生記念品のフォトスタンドは、小原和紙を使用して作られています。先日行われた「2025国際首長フォーラム」で配付されたIDカードにも使われました。

少ない材料で生まれる和紙

尾関 和紙工芸体験館で使う和紙の原料は基本的にコウソノ木の皮の繊維です。コウソノは自生する上に成長が早く、年に1回収穫できるため、日本各地の和紙の産地で、最も一般的に使われています。ほかに、コウソノの繊維と比べて短く、きれいな紙を漉くことができる「ミツマタ」や、非常に薄い丈夫な紙を漉くことができる「ガンビ」があります。栽培が難しいガンビで作られた紙は、高級品です。江戸時代には絵を描くときに使われたり、海外で売られたりしていたように、庶民のための紙ではありませんでした。



コウソノの皮



トコロアオイの根

尾関 紙漉きの原料に、トコロアオイの粘液「トロ」を加えます。トコロアオイはオクラの仲間、根を叩くと出るヌルヌルの粘液を加えることで、水の中でコウソノの繊維が全体に広がり、均一でなめらかな紙を作ることができます。また、とろみがあることで水が流れ落ちる速度がゆっくりになるので、和紙の角までしっかりときれいな紙を漉くことができます。江戸時代から変わらず、このコウソノとトコロアオイが使われてきました。紙を漉くときには水とトロの部分は流れ落ちてしまうので、実際に紙になるのはコウソノの繊維だけです。少ない材料だけで作れているのは、和紙のおもしろいところですね。

歴史から体験まで 豊田市小原和紙のふるさと

尾関 豊田市小原和紙のふるさとには、和紙工芸体験館のほか小原和紙美術館があります。美術館では、和紙の作り方の模型や、小原和紙工芸作家の作品を見ることが出来ます。また藤井達吉先生の年表や作品展示もあり、小原地区と先生の歴史が知りたい方におすすめです。和紙工芸体験館では、どんな場所で和紙作りが行われているのを見学できます。小原和紙製品の販売や紙漉き体験も行っています。初心者の方におすすめの体験は、和紙を漉くときに四季桜や紅葉を漉きこむ「葉漉き」です。カラフルできれいですよ。予約なしでもさまざまな体験をすることが出来ます。園内の景色もおおすすめです。春はソメイヨシノが、秋には紅葉が見られます。四季桜も咲くので冬でも桜が楽しめます。ぜひお気軽に遊びに来てください。

図書館で紙漉き体験！

尾関 2月に図書館で開催する講座では、小原和紙の作り方や材料について学び、実際に切手を貼って使える、オリジナルはがきを作ります。お子さんでも簡単に作ることができて、楽しみながら体験できます。和紙がどうやってできているのかを考えるきっかけになれば嬉しいです。



豊田市 小原和紙のふるさと 和紙工芸体験館
〒470-0562 愛知県豊田市永太郎町洞 216-1
電話・FAX 0565-65-2953
開館 9:00-17:00
体験受付 9:00-16:00
休館日 月(祝日は開館)、年末年始

よもよも×紙と手しごと

中央図書館3階にて特集展示開催中
オススメ本をピックアップ紹介



『和紙ってなに？3 和紙のきほん』

「和紙ってなに？」編集室/[編] 理論社 請求記号 K585/リ0/3

和紙の特徴や洋紙との違い、和紙の原料から実際の紙漉きの様子まで、写真とともに解説しています。子どもから大人まで簡単に読めて、実際に和紙に触れてみたいくなる一冊です。



『日本史を支えてきた和紙の話』

朽見行雄 / 著 草思社 請求記号 585.6/7/F

和紙は単なるモノではなく、日本の国家経営から芸術、日常生活まで、幅広く能力を発揮してきました。古代から現代に至るまで、「和紙」と「日本人」の関係性を描いた興味深い歴史物語です。



『紙の温度』が出会った世界の紙と日本の和紙』

紙の温度株式会社 / 著 グラフィック社 請求記号 585/カ/

紙の専門店「紙の温度」が取り扱う、世界約22ヶ国と日本の和紙の産地の中から、87ヶ所の産地や工房、職人さんについて紹介した一冊。小原和紙についても紹介されています。



『子どものためのニッポン仕事事典』

大牧圭吾 / 監修 オークラ出版 請求記号 K750/材/

未来に残したい仕事を紹介する図鑑。和紙職人のほか、活版印刷職人や線香職人、仏師など、さまざまな職人のインタビューから、作業工程や職人のこだわり、やりがいを知ることができます。

【書店連携展示】書店員と 図書館員があなたに選ぶ本



丸善豊田T-FACE店と豊田市中央図書館が協力して、特集展示を開催します。書店員と図書館員がおすすめする本を、「メディア化」「文芸書」「専門書」「地域密着型」「児童書」の5つのジャンルに分けて、書店と図書館の双方で展示します。中央図書館での展示期間は、2月1日(日)から2月28日(土)までです。図書館で「借りる」ワクワクと、書店で自分だけの「買う」幸せ。ぜひ両方の会場を巡って、あなたにぴったりの「本の楽しみ方」を見つけてください。

図書館スタッフの わたしの好きな本



『方舟』
夕木春央 / 著 講談社 請求記号 913.6/ウ/

スタッフ 山村
好きなものはエビ

結果は予測不能。最高のミステリー
昨年のわたしの目標は「本を12冊読む」でした。無事14冊読了し、目標を達成できました。その中で最も印象的だったのがこの本です。帯にどんでん返しのフレーズがあり、そんなにハードルをあげて大丈夫かと思いつつ読み始めました。完敗でした。ミステリーを読むと、先の展開がなんとなく分かってしまったり、予想の範囲を超えないことが増えました。そんな中で主人公も探偵役も犯人も誰の結末も、予想外の作品に出会ったのは数年ぶりでした。好みは分かれる作品かもしれませんが、わたしはこの結末を素晴らしいと思いました。

2月の展示

※展示期間の詳細は図書館までお問い合わせください。

3階

ふらっとカフェ巡り
書店員と図書館員があなたに選ぶ本
英文多読講座 ステップアップ編
よもよも ×紙と手しごと(仮)
没後50年 高島野十郎展
関連資料展示(豊田市美術館連携)
おしえてほしい 大切な性のこと
(ゆるっと♡ほけんしつ 夢カフェ連携)

【ティーンズ】 イチオシ本を紹介しよう!!ピブリオスピーチ
あなたの抱える問題、本が解決します!
～寒さ対策編～

4階

【児童】 おかしだいすき! 技術者のプロへ
【自動車】 イギリスの自動車文化

5階

イタリア冬の魅力祭
【映画】 君が最後に遺した歌 (イオンシネマ豊田 KITARA連携)
【企画展示】 光と色彩のハーモニー マーブルアートをお楽しみ下さい (マーブルアート～虹花～主催)

2月の図書館カレンダー

1 日	16 月 休館日
2 月 休館日	17 火
3 火	18 水
4 水	19 木 読み聞かせレベルアップ講座
5 木	20 金
6 金	21 土
7 土	22 日 ボードゲームで遊ぼう
8 日 シニアセミナー 柳亭市若落語会	23 月 豊田市中央図書館に眠る江戸時代の雅楽書
9 月 休館日	24 火
10 火	25 水
11 水	26 木
12 木	27 金
13 金 読書指導者研修会	28 土 【講座】知ってる?とよたの伝統工芸
14 土	
15 日 手話のおはなし会	

PICK UP 中央図書館イベント情報

2/22 (日)

ボードゲームで

14:00~17:00

遊ぼう

国内外のさまざまなボードゲームを楽しむことができるイベントです

場所 6階多目的ホール 定員 先着36人

対象 どなたでも

申込み 不要(当日、直接多目的ホールにお越しください)

3/1 (日)

英文多読講座

10:30~12:00

ステップアップ編

英文多読を楽しく続けるコツや効率の良い学習方法について学ぶ講座です

場所 6階多目的ホール 定員 先着30人

対象 中学3年生以上(未就学児の同伴不可)

講師 西澤 一 氏(豊田工業高等専門学校名誉教授)

申込み 2月5日(木)午前10時から、中央図書館各階総合案内 電話、HPIにて受付

2/23 (月)

豊田市中央図書館に眠る

14:00~15:30

江戸時代の雅楽書

雅楽書の写本『律呂』に焦点を当て、本が語る旧学母藩の歴史に迫る講座です

場所 6階多目的ホール 定員 先着40人

対象 どなたでも

講師 明木 茂夫 氏(中京大学国際学部教授)

申込み 2月5日(木)午前10時から、中央図書館各階総合案内 電話、HPIにて受付

3/8 (日)

調べて楽しい! わくわく実験!

10:15~12:00

レモンでサイエンス

調べる・伝える学習応援講座。レモンがどのように骨の健康に役立つのかを学びます

場所 6階多目的ホール 定員 先着15組

対象 小学生と保護者

講師 西川 眞理子 氏(ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社)

申込み 2月1日(日)午前10時から、中央図書館4階総合案内 HPIにて受付

よみりん・かたるん の 4コマ劇場



よもよも

豊田市中央図書館だより vol.65
2026年2月1日発行

〒471-0025 豊田市西町1-200 豊田参合館内 TEL 0565-32-0717

休館日 月曜日(祝日、夏休み期間は開館)、年末年始(12月28日~1月4日)

特別整理休館日 開館時間 午前10時~午後8時

豊田市中央図書館は、指定管理者株式会社図書館流通センター・ホームックス株式会社共同企業体が管理・運営を行っています。

中央図書館 HP
図書館の検索・予約
利用案内はこちら

